

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達センターびいば		公表日		2025年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	0	・利用者が落ち着くことのできる個室がある。 ・活動するグループとそうでないグループで場所を分けている点。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	16	2	・自由時間中に職員、スタッフの人数が少なく感じる時もある。	・たまにお子さんが1人になっていることがあるので気を付けたい。 ・たまに男性スタッフ1人で焦る時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	19	0	・フロアにシャッター（じゃばらのカーテン）がついていることで、自由時間とプログラムが2グループで同タイミングでおこなわれていても、活動場所と内容に対応させて明確に境を作ることが出来る点。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	19	0	・活動によりフロアをカーテンで仕切ること、集中できる環境づくりをしている。 ・加湿器がある点。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	0	・小部屋の設置。小部屋の中でも、クッションやマットを使い利用者の方が過ごしやすい環境に調整できるようになっている点。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	15	0	・活動記録と記述があるのがありがたい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・不明		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・講習、業務連絡		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	・不明		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	0	・定期的な研修会の開催があり、参加しやすい環境にある。 ・3か月に1回のペースで研修会を受けることが出来る点。	・研修のほかに勉強会が増えてよいと思う。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	・日々の活動記録やスタッフ間での振り返りをする時間もあり、共通理解できている。 ・変更の口頭での共有等		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	・不明		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	2		・ここ最近ではスタッフを交えての立案を行っていない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	0	・ハロウィンやクリスマスなど季節のイベントに合わせたプログラムが設定されている点。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	17	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	・ポイントがある場合、活動前に共有して下さる。 ・その日に気になることや事前に不安なことなど相談させて頂いて助かっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	・その日に気になることや事前に不安なこと等相談させて頂いて助かっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	12	0	・不明	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16	1	・カード等。ツールの工夫。	基本は工夫されているが、どうしても上手くいかない時もある。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・不明	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	・不明	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14	0		・たまに学校から放デイから伝えられていない内容の支援や引継ぎが行なわれることがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	・不明	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	・不明	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	6	・不明	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・不明	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	・不明	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	・不明	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・不明	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	0	・月1回の通信の発行、プログラム表を発信している。 ・ふえるまーたやインスタグラムを使用。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	0	・個人情報を含む資料は、閉所後は鍵の付いたロッカーで保管されている点。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	・必要なものがある部屋のドアの前に物の写真と名前が書かれたカードが貼られていて、いつでもカードをつかっつけてつかいたいものを伝えることが出来るようになってきている点。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	・不明	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17	0	・定期的な避難訓練が役立っていると思う。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	18	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1	・不明	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18	0	・業務連絡で共有されている。 ・ヒヤリハットの記録はいつでも見やすい場所に置かれていて、最新があれば業務連絡で教えていただける点。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18	0	・虐待防止に向けた研修を受けた。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	17	0			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達センターびいば

公表日 2025年 2月 1日

利用児童数 2025年 1月 20日 43名

回収数 30名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	0	4	・実際に何名いらっしゃるか存じ上げません。	・定員10名に対して、スタッフ7.8名配置をしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	2	0	1		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	0	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	1	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	9	10	・なくていいです。 ・分からないが地域の子供と交流する必要をあまり感じない。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	8	9	・子どもが楽しく通っていることだけでも有難く思っております。 ・面談でいろいろ教えて頂けるので充分です。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	3	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	6	14	5	・なくていいです。 ・今のところ特に必要を感じていないが、今後興味があります。	
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3	1	4	・今まで特に相談や申し入れ等の経験がなかったため。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	1	0	1		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2	1	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	0	0	3	・特に経験がないので。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	0	1	1	・毎回楽しく通わせて頂いております。ありがとうございます！実際に子供が過ごしている様子を見たことがないので、例えば面談の日に合わせて見学等させていただけると良いかと思います。	・ご意見ありがとうございます。面談日のご利用日だった場合に、見学できるよう調整いたします。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	1	0	・休みの日も、「びいほに行く！」と言って行きたがるくらい楽しみにしています。 ・数カ所通所している放デイの中で1番楽しいようでありたいです。	・ご意見ありがとうございます。今後も子どもたちにとって楽しい場所と思えるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1	1	0	・とても満足しています。 ・週末のイベントは希望者が参加できるシステムになると嬉しいです。 (職員の方のご都合もあって難しいとは思いますが)	・イベントはできる限り多くの子どもたちが参加可能なようにしていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達センターびいば		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2025年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2025年 1月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日々の記録	・毎日活動後に記録を書くことで、次の支援への準備をしている。 ・支援に入る前に記録を確認する時間を作り、当日の活動へ活かしている。	・現状手書きで記録をしているが、ICTを活用できるようにする。
2	・職員間の情報共有・意見交換	・月に1回職員の研修会が開催されており、研修会のテーマは3か月に1回変えて学ぶ場を作っている。 ・支援のポイントがある場合は、業務連絡や口頭で共有を行なっている。 ・活動後には振り返りの時間を作り、次回の活動に活かしている。	・研修会以外でも勉強会など学ぶ場を増やす。 ・直接言いにくいことも考え、匿名で意見を伝えるシステムを作る。
3	・保護者への活動内容の情報発信	・会社で実施しているInstagramにより、日々どのような活動をしているかを保護者・利用者へ発信している。 ・月1回の写真付き広報により、日々どのような活動をしているかを保護者・利用者へ発信している。	・ICTを活用し、さらに情報を発信する仕組みを作る。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部との連携 (地域交流・医療連携・保護者会・就学前施設など)	・近隣で開催されるイベントに参加することはあるが、交流はできていない。 上記課題の要因は ・事務業務や支援で手一杯になり、優先度が低くなることが多いため。	・年間計画を作り、イベントに参加できる準備をする。 ・イベントに参加することで外部と交流する機会を増やす。
2	・家族、きょうだいへの支援	・ペアレントトレーニングや家族参加できる研修会の機会がない。また、きょうだい向けイベントやきょうだい同士の交流の機会が作れていない。	・外部からびいばへ来た、研修のお知らせ・資料を保護者にも共有する。 ・面談時にきょうだいの話も聞く。 ・きょうだいも参加できるイベントを開催する。
3			